



都議会自民党

発行：東京都議会議員 小松ダイスケ事務所
〒157-0062 世田谷区尾山台6-38-10-201
TEL.03-5314-9577 / FAX.03-5314-9573



活動レポート

東京都議会議員
(世田谷区選出)

小松ダイスケ



令和7年度も
都政改革
を推進!!

都議会でのしごと：都議会自民党 幹事長 / 議会運営委員会 委員長 / 公営企業委員会 委員 ほか

小松ダイスケ プロフィール

東京都議会議員 (現在3期) / 1977年7月30日 世田谷区生まれ / 国土館大学体育学部を卒業後、民間企業勤務 (6年)、会社経営 (3年) を経て、2011年 世田谷区議会議員選挙 当選 (1期) / 2013年 東京都議会議員選挙 当選 (現3期) / 早稲田大学大学院公共経営研究所 修了

東京・世田谷の発展に全力投球!!



都議会本会議で
代表質問に
立ちました



小松ダイスケ都議は、都議会自民党幹事長として、都議会第1回定例会で代表質問に立ち、防災・防犯対策、景気対策、子育て支援、医療・福祉の拡充など、都政の緊急課題を都に質問しました。質疑を抜粋・要約して速報します。



都議会第1回定例会 都議会自民党代表質問の様子



小松ダイスケ都議の
代表質問・録音映像は
こちらをご覧ください



2050 東京戦略

Q 新たに2050東京戦略(案)が公表された。今後の都政のかし取りについて、知事の見解を伺う。

知事答弁 ▶この度、2050年代の将来像と、その実現に向けた戦略を定めた。全ての人が輝き、幸せを実感できる、世界で一番の都市東京を実現していく。

都市づくり

Q 都民が豊かさを実感できる都市に向け、今後どのような検討を進めるのか、知事の見解を伺う。

知事答弁 ▶最先端の環境技術等も活用し、各地域の特色や個性を生かしつつ、多様なライフスタイルを創える、魅力に彩られた都市を実現していく。

防災対策

Q 2050東京戦略策定を踏まえ、TOKYO強靱化プロジェクトをどのように推進強化するのか伺う。

知事答弁 ▶活動機会の創出による地域防災の担い手確保や、対応の迅速化に向けた防災DX推進など、区市町村等と連携し取組みを一層強化していく。

地域防災

Q 地域防災を担う消防団員の処遇改善とともに、官民連携による消防活動力の強化を。

消防総監答弁 ▶民間企業等と共同研究し、屋外から放水等ができる新ドローン開発を目指す。今後とも企業や大学等と連携し、消防活動力の強化を図る。

避難所改革

Q 大規模災害時のトイレ環境の悪化対策等、都は避難所改革へ向けた、区市町村への支援を。

総務局長答弁 ▶避難所運営指針の丁寧な説明や、新たな補助金の創設、セミナー開設など、区市町村を支援し、避難所改革の実効性を高めていく。

下水道管老朽化

Q 埼玉県八潮市の道路陥没を受けた都の対応とともに、都内下水道管の老朽化対策について伺う。

下水道局長答弁 ▶整備年代の古い路線や、調査に基づき対策が必要な幹線等を優先して再構築を進めている。今後とも、下水道の強靱化を推進していく。

風パイト対策

Q 防犯カメラ設置等、地域の見守り活動とともに、都民が自身で行う防犯対策への支援拡充を。

生活文化スポーツ局生活安全部副局長答弁 ▶町会、自治会や商店街への防犯カメラ等設置費用の補助率引上げ、家庭用防犯機器への緊急補助を実施する。

地域医療体制

Q 物価高騰や人件費増加等で病院経営は厳しさを増している。地域医療確保への取組み強化を。

知事答弁 ▶高齢者用病床を確保し入院患者を受け入れる病院への支援、小児科、産科、救急病院の年間を通じた患者受入れ体制確保への支援を実施する。

小松ダイスケ都議 都議会第1回定例会 代表質問特集

TOKYO 2025

東京・世田谷の未来へ向かって
効果的な施策を展開!!

小池都知事に都政改革の推進を強力に要請しました

小松ダイスケ都議の代表質問全文はこちらから▶



少子化対策

Q 昨年の全国出生数は70万人を下回る見通し。都は今後どう少子化に向き合っていくのか伺う。

知事答弁▶望む人が安心して子供を産み育てることができる社会の実現に向け、幅広い政策分野で取組みをさらに充実強化していく。

子育て支援

Q 広さ・設備・価格など子育て世帯のニーズに対応した住宅の供給など、施策の多様化・拡充を。

住宅政策本部長答弁▶空き家の民間支援事業の再構築、既存ストックの有効活用、子育て世帯等が住みやすいアフォーダブル住宅の供給を進める。

児童虐待防止

Q 深刻化する児童虐待防止へ向け、児童相談所の専門人材確保・定着が重要。都の取組みを伺う。

福祉局長▶業務の魅力を活かす動画の活用、新規採用の児童福祉司等への奨学金返済支援、働きやすい環境整備等、人材の確保・定着を促進していく。

学校教育

Q 都が、都立高校から展開するという「新たな教育スタイル」について、具体的な取組みを伺う。

知事答弁▶デジタルの知識を基に、ものづくりや最先端の研究のリアルな現場に出向き、様々な課題解決を見い出す、探究的な学び等を支援していく。

手取りUP

Q 「年収の壁」による就業調整を減らし、企業の人手不足が解消されるよう、支援の強化を。

産業労働局長答弁▶社会保障料の負担を和らげる仕組みづくりに対して、新たに30万円の奨励金を支給するなど、働き控えの解消につなげていく。

物価高騰支援

Q 適切な物価高騰対策等、都民や事業者に配慮した十分な支援を積極的に行うべき。都の見解は。

知事答弁▶令和7年度当初予算でも、総額1671億円に及ぶ重要な対策を講じている。今後も都民の暮らしと東京の経済をしっかりと支えていく。

働き方改革

Q 「手取り時間」増へ向けて、社員の価値観に合った働き方の実現に取組む企業への支援強化を。

産業労働局長答弁▶社員の労働時間の自由度を高める取組み、週休三日制や、有給休暇を積み立て学び直しに利用できる制度の導入等に手厚い助成を行う。

東京農業

Q 資材高騰等、農業者の厳しい状況に目を向け、経営力の強化を一層後押しすべき。都の見解は。

産業労働局長答弁▶新規就農者等への助成の拡大とともに、環境に優しいビニールハウス装替への助成を開始し、持続可能な東京農業につなげていく。

DX推進

Q 東京アプリを活用したキャンペーン等の利用促進を図るために、区市町村施策との連携強化を。

デジタルサービス局長答弁▶今後7000ポイントを付与するキャンペーンを実施しアプリの浸透を図るとともに、区市町村独自の活用の幅を広げていく。

環境対策

Q 都が先頭に立って、脱炭素化の新技术開発に取組むスタートアップ企業への資金調達支援を。

スタートアップ・国際金融都市戦略室長答弁▶官民連携のファンドにより、長期的視点から資金供給を進め、脱炭素化を牽引する企業を育てていく。

令和7年度 東京都予算案17兆8,497億円の概要

一般会計 9兆1,580億円 (8.3%増)

特別会計 6兆6,993億円 (8.2%増)

公営企業会計 1兆9,924億円 (4.1%増)

予算総額 17兆8,497億円 (7.8%増)

☆東京都予算は、国家予算と同規模です。令和7年度は、



スウェーデン：20兆円



スイス：14.7兆円



予算詳細はこちらから▶

小松ダイスケ都議の要望で計上された主な予算

防犯カメラ等設置補助 14億円

地域医療体制の確保 321億円

保育料等第1子無償化 279億円

災害時トイレ確保等区市町村支援 10億円

東京都議会議員 **小松ダイスケ** 事務所
皆様の都政へのご意見・ご要望をお寄せ下さい。

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山 6-38-10-201

TEL.03-5314-9577 FAX.03-5314-9573

info@komatsudaisuke.com

